

第13回MV勉強会 アンケート結果

Q. パネルディスカッション「月社会の運営のための輸送システム討論会」に関してご感想、ご意見があればご記入ください。

- 月への輸送システム構築のための、具体的な内容を聞いて理解がしやすかった。特に輸送のための資金を確保する方法やどのようなロケットがより効率であるかなどはとても興味深かった。
- 1フライトいくらの世界観や、複数回前提でないと見えてこないことがある、などビジネスとして回すためのポイントをつかめたような気がします。
- 月への輸送システム構築のための、具体的な内容を聞いて理解がしやすかった。特に輸送のための資金を確保する方法やどのようなロケットがより効率であるかなどはとても興味深かった。
- 一般向けのパネルディスカッションではなく、お互いJAXAのことや宇宙事情の専門家同士で、掘り下げたやり取りでおもしろかったです。このようなパネルディスカッションも今後ぜひ企画お願いします。
- まだまだ課題はあるものの、月への定期便(?)への道が始まっている様に思えました。
- 各界を代表される豪華なメンバーの意見交換を大変興味深く聴かせて頂きました。月へ行くためのほとんどの費用が輸送費で消えてしまう現実を打開する為の低コスト、再利用型の宇宙機が開発されて、1億円ではなく、一人1千万円で月に行ける時代が(生きていうちに)来ることを切望します。
- 月社会が魅力的なものになると、どのようなビジネスチャンスが生まれるのか興味深かったです。
- いろいろな立場の考えがまとめて聞けたので面白かった。もう少し時間を長目にとってもよかったと思う。

Q. パネルディスカッション「月社会の運営のための輸送システム討論会」に関してご感想、ご意見があればご記入ください。

- 日本は国威・軍事ではなく、経済性のある月面利用を創出する必要があるので、他国を参考にできないと考えている。輸送と需要を「卵が先か・鶏が先か」ではなく、月面利用を前提とした新技術を地球で産業化し、台木(産業)と接ぎ穂(輸送)の両方を同時に開発するといった、異種の接ぎ木で喩える方が適切と考える。
- (その例として) 地下建築技術の開発を主軸において、エネルギー利用と地下農場を促進する等。社名で苦境に陥っているコロナ社は地中熱利用システムGioSISを販売していますが、埋設法は従来の重機を使っています。これをもっと効率的にできないか？地下農場については大豆たんぱくの人工肉を3Dプリンタで作る技術がありますが、それを地下数十階のビルで作る。牧草地の平面を分割し、地下に向けて縦に積むイメージです。大豆たんぱくをそのまま食肉に模するので、生肉より飼料の使用効率が高い。他に、土砂崩れを防ぐのり面工事ではなく、直径1m程の管を何本も地下に埋め、その内壁を「棚田」にする。内壁に沿ってコンベアを螺旋状に地下に降ろし、その上に稲一株だけの「棚田」を置く。中心軸に棒状の白色光源を置けば、洪水でも水没しない稲田にならないか…土壌強化と稲作の兼用です。